

6 月 28 日 : VN 指数は引けにかけて下落 (VN-Index -1.09%)

- VN 指数はわずかに上昇して寄り付き、前場は狭い変動幅を保ちながら昨日終値付近でもみ合う展開で推移した。
- 昨日の非常に落ち着いた流動性に比べて本日は比較的活発であったが、特に方向感が定まらないまま進んでいった。
- 後場に入ってから弱気な投資家心理が市場全体に広がったことで下落を始め、引けにかけてその下落幅を広げていった。
- 銀行、金融、化学セクターの下落が大きく影響し、指数の不調につながった。
- 79 銘柄が上昇、355 銘柄が下落、61 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大きく改善し、37.4%増の 20.8 兆ドンとなった。

VN30 指数はマイナス圏で推移 (VN-30 -0.83%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、9 銘柄が上昇し、18 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずだった。
- POW (+1.02%)が 1%を超える上昇を記録した唯一の銘柄であった。
- GVR (-5.00%)が指数の中で最も下落し、それに BCM (-2.15%)、BID (-1.93%)が続いた。

セクター・個別株の動き

- HSG (-3.82%)は 2050 年までの排出ガス実質ゼロを目的とし、シンガポールの SP グループとコンサルタント契約を締結した。SP グループは同社のエネルギー効率についての提案や、ほかのさまざまなプロジェクトの投資において助言を行う予定である。
- SHB (+0.88%)は 2023 年度の配当を 16%の比率で行うことを承認した。そのうち 5%を現金、11%を株式で株主に分配する。同社は 2024 年の目標を総資産 701 兆ドン、税引き前利益を前年比 22%増の 11.2 兆ドンと設定している。

- 外国人投資家は 1 兆 1720 億ドルの売り越し。主要な買い越し銘柄は無かった一方で、FPT (-1.73%)、FUEVFNND (-1.04%)、TCB (-0.43%)などを中心に売り越しされた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。